

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 東和薬品 株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号	
本票作成	部署名：本社総務部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造・販売(固形剤、注射剤) 従業員：2,995名 (2018年4月1日)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		勝田郡勝央町太平台34番2号	
	②	西日本物流センター		勝田郡勝央町太平台84番	
	③	岡山営業所		岡山市南区新保1152-1	
	④	西日本メガソーラー		勝田郡勝央町太平台84番	
	⑤	岡山工場 第三駐車場		勝田郡勝央町太平台65番	
⑥	岡山工場 第二駐車場		勝田郡勝央町太平台71番		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	10,380 t CO <sub>2</sub>	14,982 t CO <sub>2</sub>	13,286 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	岡山工場	14,350 t CO <sub>2</sub>
	②	西日本物流センター	548 t CO <sub>2</sub>
	③	岡山営業所	49 t CO <sub>2</sub>
	④	西日本メガソーラー	15 t CO <sub>2</sub>
	⑤	岡山工場 第三駐車場	18 t CO <sub>2</sub>
⑥	岡山工場 第二駐車場	2 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 30 年度 ( 4 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.2 %	4.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原料使用量 ( t )	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 ) 年度	目標年度
		11.010	11.140	10.560
	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・温室効果ガス排出量は、基準年度 (H26年度) に対し4,571 tCO<sub>2</sub>の増加となり、目標とした原単位4.0%の削減は未達となった。  
 ・政府「骨太の方針」にありますジェネリック使用促進策に応じる為、平成27年度から岡山工場での生産能力増強工事を始め先行で各種の設備投資を実施。(2020年度の生産量ピークに向け、生産エリア拡大及び生産エリア確保のための非生産棟を別置など) これにより原単位の分母である原料使用量 ( t ) には直接関係の無い非生産部分のエネルギー使用量 ( kL ) が増えた半面、政策の見直しにより当初の期待ほど生産量=原料使用量 ( t ) が増えずに改善できなかった。しかし、今後は環境省エネ委員会を通じて省エネ啓蒙、運用面の改善に務めると共に計画的な設備投資による改善を図る予定。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づき管理体制（全社的な省エネ委員会）を整備し，省エネ・節電に取り組んでいる。
- ・岡山工場と西日本物流センターで環境省エネ委員会（1回／月）を実施。  
また，環境省エネ事務局による，省エネ推進や法対応を実施。
- ・各課で省エネパトロール（チェックシートによる自己点検）を実施している（1回／2ヶ月）
- ・全体会議や掲示板でエネルギー使用量や原単位推移などの情報を随時公開及び教育を行い，環境省エネを推進している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(H29年度実施分) 岡山工場	(H29年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの室内温度の緩和。（冷房28℃ 暖房20℃推奨）</li> <li>・エアコンフィルターの清掃。</li> <li>・不要照明やエアコンのOFF。</li> <li>・OA機器，PCの省エネ設定，離席時のモニタOFF。</li> <li>・製造エリア空調機の温湿度設定を管理範囲内で緩和。</li> <li>・デマンド監視による，節電啓発。</li> </ul>
(今後実施予定分) 岡山工場	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き上記環境省エネ活動を実施</li> <li>・高効率コンプレッサーの採用（CO2削減量17t/年）</li> <li>・ボイラーの燃料転換（CO2削減量185t/年）</li> <li>・空調INV化及び換気回数の削減（CO2削減量1,520t/年）</li> <li>・PACの更新（CO2削減量54t/年）</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	西日本物流センターに太陽光発電設備を設置 2343kW 全量売電 443kw（2012年11月）1500kW（2014年 1月）余剰売電 400kW（2012年5月）
その他	無	

**【その他特記事項】**

<p>東和薬品として全社的な取組み事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●経団連が取組む低炭素社会実行計画へ参加。 目標【2005年度比、2020年度のCO2排出量を売上高原単位で23%削減】</li> <li>●自主的に夏冬の節電に取り組んでいる。 （各事業所で節電行動計画の策定）</li> <li>●環境省が実施している「COOL CHOICE」、 「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に参加。 さらに、東和薬品として「fun to share」に賛同登録を実施し、活動を進めている。</li> </ul>		
---	--	--